



Z コマンド

この章のコマンドは、Cisco MDS 9000 ファミリのマルチレイヤディレクタおよびファブリック スイッチに対応しています。ここでは、コマンドモードに関係なく、すべてのコマンドがアルファベット順に記載されています。各コマンドの適切なモードを確認するには、「コマンドモード」を参照してください。詳細については、『*Cisco MDS 9000 Family CLI Configuration Guide*』を参照してください。

zone broadcast enable vsan

ベーシックゾーン分割モードで VSAN（仮想 SAN）のゾーンブロードキャストフレームをイネーブルにするには、コンフィギュレーションモードで **zone broadcast enable** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

zone broadcast enable vsan vsan-id

no zone broadcast enable vsan vsan-id

シンタックスの説明	<i>vsan-id</i>	VSAN（仮想 SAN）ID を指定します。有効範囲は 1 ～ 4093 です。
------------------	----------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	コンフィギュレーションモード
----------------	----------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ブロードキャストフレームがすべての Nx ポートに送信されます。FL ポートに接続している NL ポートがブロードキャストフレームのソースとブロードキャストゾーンを共有している場合、フレームはループにあるすべてのデバイスにブロードキャストされます。

このコマンドは、ベーシックゾーン分割モードにのみ適用されます。



(注)

このコマンドは、Cisco MDS 9124 スイッチ、Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem、Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter でサポートされていません。

例 次に、ファブリック全体でのゾーンコンフィギュレーションのブロードキャストをイネーブルにする例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# zone broadcast enable vsan 10
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zone	ゾーン情報を表示します。

zone clone

ゾーン名を複製するには、コンフィギュレーション モードで **zone clone** コマンドを使用します。

```
zone clone origZone-Name cloneZone-Name vsan vsan-id
```

シンタックスの説明	
<i>origZone-Name cloneZone-Name</i>	現行の名前から新しい名前にゾーンの属性グループを複製します。名前は最大 64 文字です。
<i>vsan vsan-id</i>	VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト なし

コマンドモード コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.1(1a)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ゾーン名を削除するには、**zone name** (コンフィギュレーション モード) コマンドの **no** 形式を使用します。

例 次に、名前が **origZone** という元のゾーン グループを複製して、VSAN 45 にクローンゾーン グループ **cloneZone** を作成する例を示します。

```
switch# config terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# zone clone origZone cloneZone vsan 45
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zone	ゾーン情報を表示します。

zone commit vsan

VSAN（仮想 SAN）のゾーン分割変更を確定するには、コンフィギュレーション モードで **zone commit vsan** コマンドを使用します。コマンドを無効にするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
zone commit vsan vsan-id [force]
```

```
no zone commit vsan vsan-id [force]
```

シンタックスの説明	vsan vsan-id	VSAN（仮想 SAN）ID を指定します。有効範囲は 1 ～ 4093 です。
	force	強制的に確定します。

デフォルト なし

コマンドモード コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(1a)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ロックを開始したスイッチのセッション ロックを消去するには、**zone commit vsan** コマンドの **no** 形式を使用します。

例 次に、VSAN 200 内のゾーン分割変更を確定する例を示します。

```
switch# config terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# zone commit vsan 200
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zone	ゾーン情報を表示します。

zone compact vsan

VSAN（仮想 SAN）内のゾーン データベースを圧縮するには、**zone compact vsan** コマンドを使用します。

```
zone compact vsan vsan-id
```

シンタックスの説明	<i>vsan-id</i>	VSAN（仮想 SAN）ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
デフォルト		なし
コマンド モード		コンフィギュレーション モード
コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン Cisco MDS SAN-OS Release 3.0(1) 以前では、VSAN 単位でサポートされるゾーン数は 2000 のみでした。Cisco SAN-OS Release 3.0(1) 以降は、8000 ゾーンをサポートしています。

2000 を越えるゾーンが追加された場合、前のリリースへダウングレードした場合に制限を超過したゾーンが失われる可能性があることを示すためのコンフィギュレーション チェックが登録されます。コンフィギュレーション チェックを回避するために、超過ゾーンを削除して VSAN のゾーン データベースを圧縮することができます。超過ゾーンを削除した後にゾーンが 2000 以下になった場合、圧縮プロセスによってゾーン ID が再発行されて、設定が前のバージョンでサポートできるようになります。

ダウングレードする場合、すべての VSAN でゾーンを 2000 未満に設定し、すべての VSAN で **zone compact vsan** コマンドを発行します。

VSAN を結合しようとする場合、VSAN 内に 2000 を越えるゾーンが存在すると結合が失敗し、隣接 VSAN で 2000 を越えるゾーンをサポートできなくなります。

VSAN 内に 2000 を越えるゾーンが存在する場合アクティベーションに失敗し、ファブリック内の全スイッチで 2000 を越えるゾーンをサポートできなくなります。

例 次に、VSAN 1 でゾーン データベースを圧縮する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(oongif)# zone compact vsan 1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zone	ゾーン情報を表示します。
	show zone analysis	ゾーン分割データベースに関する詳細な分析および統計情報を表示します。

zone copy

アクティブなゾーンセットをフルゾーンセットにコピーするには、EXEC モードで **zone copy** コマンドを使用します。このコマンドを無効にするか、または出荷時の設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
zone copy active -zoneset full-zoneset vsan vsan-id
```

```
zone copy vsan vsan-id active-zoneset {bootflash: ftp: | full-zoneset | scp: | sftp: | tftp: | volatile:}
```

シンタックスの説明

active-zoneset	アクティブゾーンセットからコピーします。
vsan vsan-id	VSAN (仮想 SAN) のアクティブゾーンセットをフルゾーンセットにコピーするように設定します。VSAN の ID は、1 ~ 4093 です。
full-zoneset	アクティブゾーンセットをフルゾーンセットにコピーします。
bootflash:	アクティブゾーンセットを bootflash: ディレクトリ内の任意の場所にコピーします。
ftp:	アクティブゾーンセットを、FTP (ファイル転送プロトコル) を使用してリモートロケーションにコピーします。
scp:	アクティブゾーンセットを、Secure Copy Protocol (SCP) プロトコルを使用してリモートロケーションにコピーします。
sftp:	アクティブゾーンセットを、Secure Trivial File Transfer Protocol (SFTP) プロトコルを使用してリモートロケーションにコピーします。
slot0:	アクティブゾーンセットを slot0: ディレクトリ内の任意の場所にコピーします。
tftp:	アクティブゾーンセットを、Trivial File Transfer Protocol (TFTP; 簡易ファイル転送プロトコル) プロトコルを使用してリモートロケーションにコピーします。
volatile:	アクティブゾーンセットを volatile: ディレクトリ内の任意の場所にコピーします。

デフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(1)	このコマンドは変更されました。

使用上のガイドライン

なし

例

次に、アクティブゾーンセットをフルゾーンセットにコピーする例を示します。

```
switch# zone copy active-zoneset full-zoneset vsan 1
```

次に、VSAN 3 のアクティブゾーンセットを、SCP を使用してリモートロケーションにコピーする例を示します。

```
switch# zone copy vsan 3 active-zoneset scp://guest@myserver/tmp/active_zoneset.txt
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zone	ゾーン情報を表示します。

zone default-zone

デフォルト ゾーン（作成されたゾーンが割り当てられていないノード）がデフォルト ゾーン内のすべてに対するアクセスを許可するか拒否するかを定義するには、コンフィギュレーション モードで **zone default-zone** コマンドを使用します。このコマンドを無効にするか、または出荷時の設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
zone default-zone [permit] vsan vsan-id
```

```
no zone default-zone [permit] vsan vsan-id
```

シンタックスの説明	permit	説明
	vsan vsan-id	指定した VSAN（仮想 SAN）でのデフォルトのゾーン分割動作を設定します。VSAN ID の有効範囲は、1 ~ 4093 です。

デフォルト 全てのデフォルト ゾーンがアクセスを許可します。

コマンドモード コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン VSAN 内のデフォルト ゾーンに対する運用値を定義するには、**zone default-zone permit vsan** コマンドを使用します。このコマンドは既存の VSAN に適用されます。まだ作成されていない VSAN には効果がありません。

全 VSAN のデフォルト ゾーンに定義されたデフォルト値を使用するには、**system default zone default-zone permit** コマンドを使用します。デフォルト値は、VSAN が最初に作成されてアクティブになる際に使用されます。

例 次に、VSAN 2 内のデフォルト ゾーン分割を許可する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# zone default-zone permit vsan 2
```

関連コマンド	コマンド	説明
	system default zone default-zone permit	ゾーンのデフォルト値を設定します。
	show zone	ゾーン情報を表示します。

zone convert zone

ゾーン メンバー タイプをあるタイプから別のタイプに変えるには、コンフィギュレーション モードで **zone convert zone** コマンドを使用します。

```
zone convert zoneset name source-member-type dest-member-type vsan vsan-id
```

シンタックスの説明

name	ゾーンまたはゾーン セット名を表示します。指定ゾーンまたはゾーン セットの全メンバーが新しいタイプに変換されます。
<i>source-member-type</i>	変換されたメンバーのメンバー タイプを表示します。サポートされている変換元のメンバー タイプの値には、fWWN、pWWN、Device-Alias、FCID、Interface、および Interface-Domain があります。
<i>dest-member-type</i>	変換先メンバーのメンバー タイプを表示します。サポートされている変換先のメンバー タイプの値には、fWWN、pWWN、Device-Alias、FCID、Interface、および Interface-Domain があります。
vsan vsan-id	VSAN ID を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
3.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、すべてのメンバーがログインしていなければなりません。変換が実行されなかったメンバーが 1 つでもあると、変換は失敗します。

表 27-1 で、このコマンドでサポートされているメンバー タイプの変換マトリクスについて説明します。

表 27-1 メンバー タイプの変換マトリクス

変換元メンバータイプ	サポートされている変換先メンバー タイプ
fWWN	pWWN、FCID、Device-alias、Interface、Interface-Domain
Interface	pWWN、FCID、Device-alias、Interface、Interface-Domain
Interface-Domain	pWWN、FCID、Device-alias、Interface
pWWN	FCID、Device-Alias
FCID	pWWN、Device-Alias
Device-Alias	FCID、pWWN

例

次に、ゾーンメンバータイプ変換を表示する例を示します。

```
switch# show zoneset name zs1
zoneset name zs1 vsan 1
  zone name zone2 vsan 1
    fcid 0x0b04d3
    fcid 0x0b04cd
    fcid 0x0b04ce
    fcid 0x0b04d1
    fcid 0x0b04d2

  zone name zone1 vsan 1
    fcid 0x0b04d6
    fcid 0x0b04d9

switch# conf t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# zone convert zoneset name zs1 fcid pwwn vsan 1
switch(config)# ex

switch# show zoneset name zs1
zoneset name zs1 vsan 1
  zone name zone2 vsan 1
    pwwn 22:00:00:0c:50:02:cf:56
    pwwn 22:00:00:0c:50:02:cf:72
    pwwn 22:00:00:0c:50:02:ca:b5
    pwwn 22:00:00:0c:50:02:cb:43
    pwwn 22:00:00:0c:50:02:cd:c0

  zone name zone1 vsan 1
    pwwn 22:00:00:0c:50:02:cb:0c
    pwwn 22:00:00:0c:50:02:c9:a2
```

関連コマンド

コマンド	説明
show zone	ゾーン情報を表示します。
show zoneset	設定されたゾーンセットのみ表示します。

zone merge-control restrict vsan

ゾーンデータベースの結合を制限するには、コンフィギュレーションモードで **zone merge-control restrict vsan** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
zone merge-control restrict vsan vsan-id
```

```
no zone merge-control restrict vsan vsan-id
```

シンタックスの説明	<i>vsan-id</i>	VSAN（仮想 SAN）ID を指定します。有効範囲は 1 ～ 4093 です。
デフォルト		ディセーブル
コマンドモード		コンフィギュレーションモード
コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	結合制御設定が制限され、2 つのデータベースが同じでない場合、スイッチ間の ISL（スイッチ間リンク）は隔離されます。	
例	次に、ゾーン結合制御を設定する例を示します。	
	<pre>switch# config terminal switch(config)# zone merge-control restrict vsan 10</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	show zone	ゾーン情報を表示します。

zone mode enhanced vsan

VSAN（仮想 SAN）の拡張ゾーン分割をイネーブルにするには、コンフィギュレーションモードで **zone mode enhanced vsan** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
zone mode enhanced vsan vsan-id
```

```
no zone mode enhanced vsan vsan-id
```

シンタックスの説明	<i>vsan-id</i>	VSAN（仮想 SAN）ID を指定します。有効範囲は 1 ～ 4093 です。
デフォルト		ディセーブル
コマンドモード		コンフィギュレーションモード
コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **zone mode enhanced vsan** コマンドを使用する前に、ファブリックの全スイッチが拡張ゾーン分割モードで動作することを確認します。1 つまたは複数のスイッチが拡張ゾーン分割モードで動作しない場合、拡張ゾーン分割モードをイネーブルにする要求は拒否されます。

zone mode enhanced vsan コマンドが正常に完了すると、ソフトウェアは、セッションの開始、拡張ゾーン分割データ構造を使用したゾーン分割データベースの配信、コンフィギュレーション変更の適用、およびファブリックの全スイッチへの Release Change Authorization（RCA）の送信を自動的に行います。次に、ファブリックの全スイッチは拡張ゾーン分割モードをイネーブルにします。

例 次に、拡張ゾーン分割モードをイネーブルにする例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# zone mode enhanced vsan 10
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zone	ゾーン情報を表示します。

zone name (configuration mode)

ゾーンを作成するには、コンフィギュレーションモードで **zone name** コマンドを使用します。このコマンドを無効にするか、または出荷時の設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```

zone name zone-name vsan vsan-id
  attribute {broadcast | qos priority {high | low | medium} | read-only}

attribute-group group-name

  member {device-alias alias-name [lun lun-id] |
domain-id domain-id port-number port-number |
fcalias name | fcid fcid-value [lun lun-id] | fwwn fwwn-id |
interface fc slot/port [domain-id domain-id | swwn swwn-id] |
ip-address ip-address [subnet-mask] | pwwn pwwn-id [lun lun-id] |
symbolic-nodename identifier}

zone name zone-name vsan vsan-id
  no attribute {broadcast | qos priority {high | low | medium} | read-only}

  no attribute-group group-name

  no member {device-alias alias-name [lun lun-id] |
domain-id domain-id port-number port-number |
fcalias name | fcid fcid-value [lun lun-id] | fwwn fwwn-id |
interface fc slot/port [domain-id domain-id | swwn swwn-id] |
ip-address ip-address [subnet-mask] | pwwn pwwn-id [lun lun-id] |
symbolic-nodename identifier}

no zone name zone-name vsan vsan-id

```



(注)

Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem および Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter では、構文は次のようになります。

```
interface {bay port | ext port}
```

シンタックスの説明

zone-name	ゾーン名を指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
vsan <i>vsan-id</i>	VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
attribute	(任意) ゾーン属性を設定します。
read-only	ゾーンに読み取り専用属性を設定します (デフォルトは読み書き)。
broadcast	ゾーンにブロードキャスト属性を設定します。
qos priority { high low medium }	ゾーンに Quality of Service (QoS; サービス品質) 属性を設定します (デフォルトは low)。
attribute-group <i>group-name</i>	属性グループを設定します。1 最大 64 文字まで可能です。
member	(任意) メンバーをゾーンに追加します。
device-alias <i>alias-name</i>	デバイスエイリアス名を使用してメンバーを追加します。
lun <i>lun-id</i>	Logical Unit Number (LUN) 番号を 16 進数形式で指定します。
domain-id <i>domain-id</i>	ドメイン ID を使用してメンバーを追加します。
port-number <i>port-number</i>	ドメイン ID ポート番号アソシエーションのポート番号を使用してメンバーを追加します。

fcalias <i>name</i>	Fibre Channel (FC) エイリアス名を使用してメンバーを追加します。
fcid <i>fcid-id</i>	FCID メンバーを使用して、メンバーを追加します。フォーマットは、 <i>0xhhhhhh</i> です。
fwwn <i>fwwn-id</i>	ファブリック ポート World Wide Name (WWN) を使用してメンバーを追加します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
interface fc <i>slot/port</i>	(任意) ファイバ チャネル インターフェイスを使用して Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチにメンバーを追加します。
interface <i>bay ext port</i>	(任意) ファイバチャネル インターフェイスを使用して、Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem や Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter にメンバーを追加します。有効範囲は 0 ~ 48 です。
swwn <i>swwn-id</i>	スイッチ WWN (sWWN) を指定します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
ip-address <i>ip-address</i>	IP アドレスを使用してメンバーを追加します。
<i>subnet-mask</i>	オプションのサブネットマスクを指定します。
pwwn <i>pwwn-id</i>	port WWN を使用してメンバーを追加します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
symbolic-nodename <i>identifier</i>	名前または IP アドレスの形式で、シンボル ノード名を使用してメンバーを追加します。

デフォルト

ゾーン属性は読み取り専用です。

コマンドモード

コンフィギュレーションモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
1.2(1)	attribute 、 interface 、および lun サブコマンドが追加されました。
2.0(x)	<ul style="list-style-type: none"> • broadcast および qos priority オプションが、attribute サブコマンドに追加されました。 • attribute-group サブコマンドが追加されました。 • device-alias <i>aliasname</i> [lun <i>lun-id</i>] オプションが member サブコマンドに追加されました。
3.1(2)	interface bay ext オプションが member サブコマンドに追加されました。

使用上のガイドライン

ゾーンがゾーン セットに割り当てられてから、ゾーン セットが任意のスイッチからアクティブ化され、ファブリックを通じてすべてのスイッチに伝播されます。ゾーンは、ノード (ホストおよびストレージ) 間のアクセスを許可および拒否してセキュリティを可能にします。 **zone name** コマンドは、コンフィギュレーションモードから発行されます。VSAN 用のゾーンを **config-zone** サブモードから作成します。

show wwn switch コマンドを使用して sWWN を検索します。sWWN を指定しない場合、ソフトウェアは自動的にローカル sWWN を使用します。

ブロードキャスト フレームがすべての Nx ポートに送信されます。

■ zone name (configuration mode)

FL ポートに接続している NL ポートがブロードキャスト フレームのソースとブロードキャストゾーンを共有している場合、フレームはループにあるすべてのデバイスにブロードキャストされません。

例 次に、指定したメンバー タイプ (pWWN、ファブリック pWWN、FCID、または FC エイリアス) および値に基づいた指定ゾーン (Zone1) の属性を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# zone name Zone1 vsan 10
switch(config-zone)# attribute broadcast
switch(config-zone)# attribute read-only
```

次に、指定したメンバー タイプ (pWWN、ファブリック pWWN、FCID、または FC エイリアス) および値に基づいた指定ゾーン (Zone2) のメンバーを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# zone name Zone2 vsan 10
switch(config-zone)# attribute broadcast
switch(config-zone)# attribute read-only
pWWN example:
switch(config-zone)# member pwnn 10:00:00:23:45:67:89:ab
Fabric pWWN example:
switch(config-zone)# member fwnn 10:01:10:01:10:ab:cd:ef
FC ID example:
switch(config-zone)# member fcid 0xce00d1
FC alias example:
switch(config-zone)# member fcalias Payroll
Domain ID example:
switch(config-zone)# member domain-id 2 portnumber 23
FC alias example:
switch(config-zone)# member ipaddress 10.15.0.0 255.255.0.0
Local sWWN interface example:
switch(config-zone)# member interface fc 2/1
Remote sWWN interface example:
switch(config-zone)# member interface fc2/1 swwn 20:00:00:05:30:00:4a:de
Domain ID interface example:
switch(config-zone)# member interface fc2/1 domain-id 25
```

関連コマンド

コマンド	説明
show zone	ゾーン情報を表示します。
zone rename	ゾーンの名前を変更します。
zone-attribute-group name	ゾーンアトリビュートグループを設定します。

zone name (zone set configuration submode)

ゾーンセットのゾーンを設定するには、ゾーンセット コンフィギュレーション サブモードで **zone name** コマンドを使用します。ゾーンセットからゾーンを削除するには、コマンドの **no** 形式を使用します。

zone name *zone-name*

no zone name *zone-name*

シンタックスの説明	<i>zone-name</i>	ゾーン名を指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
------------------	------------------	------------------------------

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	ゾーンセット コンフィギュレーション サブモード
----------------	--------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドは変更されました。

使用上のガイドライン	なし
-------------------	----

例 次に、ゾーンセットのゾーンを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# zoneset name Sample vsan 1
switch(config-zoneset)# zone name MyZone
```

次に、ゾーンセットからゾーンを削除する例を示します。

```
switch(config-zoneset)# no zone name Zone2
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zoneset	ゾーンセット情報を表示します。
	zone name (コンフィギュレーション モード)	ゾーンを設定します。
	zoneset	ゾーンセット属性を設定します。

zone rename

ゾーンの名前を変更するには、コンフィギュレーションモードで **zone rename** コマンドを使用します。

```
zone rename current-name new-name vsan vsan-id
```

シンタックスの説明		
<i>current-name</i>		現在の Fibre Channel (FC) エイリアスの名前を指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
<i>new-name</i>		新しい FC エイリアスの名前を指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
vsan <i>vsan-id</i>		VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト なし

コマンドモード コンフィギュレーションサブモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、ゾーンの名前を変更する例を示します。

```
switch# zone rename ZoneA ZoneB vsan 10
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zone	ゾーン情報を表示します。
	zone name	ゾーンを作成および設定します。

zone-attribute-group clone

ゾーン属性グループを複製するには、コンフィギュレーション モードで **zone-attribute-group clone** コマンドを使用します。

```
zone attribute clone origAttGrp-Name cloneAttGrp-Name vsan vsan-id
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>origAttGrp-Name</i> <i>cloneAttGrp-Name</i>	現行の名前から新しい名前にゾーンの属性グループを複製します。名前は最大 64 文字です。
	vsan <i>vsan-id</i>	VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト なし

コマンドモード コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.1(1a)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ゾーン属性グループを削除するには、**zone-attribute-group name** コマンドの **no** 形式を使用します。

例 次に、**origZoneAttGrp** という元の名前のゾーン属性グループを複製して、VSAN 45 の **cloneZoneAttGrp** にコピーする方法を示します。

```
switch# config terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# zone-attribute-group clone origZoneAttGrp cloneZoneAttGrp vsan 45
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zone-attribute-group	ゾーンアトリビュート グループ情報を表示します。

zone-attribute-group name

拡張ゾーン分割のゾーン属性グループを作成および設定するには、コンフィギュレーション モードで **zone-attribute-group name** コマンドを使用します。ゾーン属性グループを削除するには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
zone attribute group name zone-name vsan vsan-id
```

```
no zone attribute group name zone-name vsan vsan-id
```

シンタックスの説明	zone-name	ゾーン属性名を指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
	vsan vsan-id	VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト なし

コマンドモード コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ゾーン属性グループの作成、および既存のゾーン属性グループの変更にも、このコマンドを使用できます。

ゾーン属性グループは、拡張ゾーン分割に対してのみサポートされています。 **zone mode enhanced vsan** コマンドを使用すれば、拡張ゾーン分割をイネーブルにできます。

例 次に、ゾーン属性グループを作成し、属性グループ コンフィギュレーション サブモードにする例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# zone-attribute-group name admin-attributes vsan 10
switch(config-attribute-group)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zone-attribute-group	ゾーン アトリビュート グループ情報を表示します。
	zone mode enhanced vsan	VSAN の拡張ゾーン分割をイネーブルにします。

zone-attribute-group rename

ゾーン属性グループの名前を変更するには、コンフィギュレーションモードで **zone-attribute-group rename** コマンドを使用します。

```
zone attribute group rename current-name new-name vsan vsan-id
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>current-name</i>	現在のゾーン属性名を指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
	<i>new-name</i>	新しいゾーン属性名を指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
	vsan <i>vsan-id</i>	VSAN (仮想 SAN) ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 4093 です。

デフォルト なし

コマンドモード コンフィギュレーションモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、ゾーン属性グループの名前を変更する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# zone-attribute-group rename Group1 Group2 vsan 10
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show zone-attribute-group	ゾーンアトリビュートグループ情報を表示します。

zonename (iSLB initiator configuration)

イニシエータのゾーン名を割り当てるには、iSCSI server load balancing (iSLB) イニシエータ コンフィギュレーションサブモードで **zonename** コマンドを使用します。イニシエータのゾーン名を削除するには、コマンドの **no** 形式を使用します。

zonename name

no zonename name

シンタックスの説明

zonename name イニシエータのゾーン名を割り当てます。最大文字サイズは 55 です。

デフォルト

自動的に生成されます。

コマンドモード

iSCSI イニシエータ コンフィギュレーション サブモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
3.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

iSLB イニシエータおよびイニシエータ ターゲットが追加されたゾーン名を設定することができます。ゾーン名を指定しない場合、IPS マネージャがゾーン名を動的に作成します。iSLB ゾーンセットには次のような考慮事項があります。

- イニシエータ ターゲットのあるイニシエータの自動ゾーン分割がデフォルトでイネーブルです。
- 自動ゾーンが VSAN (仮想 SAN) に作成されるためには、その VSAN でゾーン セットがアクティブでなければいけません。少なくとも他の変更が 1 度でもゾーン セットで行われた場合のみ **zoneset activate** コマンドが自動ゾーンを作成します。
- 別のゾーン セット アクティベーションが進行中であったり、ゾーン分割データベースがロックされている場合、iSLB ゾーン セット アクティベーションが失敗する可能性があります。障害が発生した場合、iSLB ゾーン セット アクティベーションを再試行してください。この問題を回避するために、ゾーン分割関連操作 (通常ゾーン、Inter-VSAN Routing [IVR] ゾーン、または iSLB ゾーン) は 1 つのみ実行します。
- IVR および iSLB が同じファブリックでイネーブルの場合、ファブリック内の少なくとも 1 スイッチで両方の機能がイネーブルになっていなければいけません。ゾーン分割関連設定やアクティベーション操作 (通常ゾーン、IVR ゾーン、または iSLB ゾーン) はこのスイッチで実行する必要があります。実行しない場合、ファブリック内でトラフィックが切断される可能性があります。

例

次に、iSLB イニシエータのゾーン名を割り当てる例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# islb initiator ip-address 100.10.10.10
ips-hac2(config-iscsi-islb-init)# zonename ?
<WORD>  Enter zone name <Max Size - 55>
ips-hac2(config-islb-init)# zonename testzone1
```

次に、ゾーン名を削除して、iSLB イニシエータのデフォルト ゾーン名に戻す例を示します。

```
switch (config-islb-init)# no zonename testzone1
```

関連コマンド

コマンド	説明
islb initiator	iSLB 名と IP アドレスを iSLB イニシエータに割り当てて、iSLB イニシエータ コンフィギュレーション サブモードを開始します。
show islb initiator	iSLB Cisco Fabric Services (CFS) 情報を表示します。
show islb initiator detail	詳細な iSLB イニシエータ情報を表示します。
show islb initiator summary	iSLB イニシエータ要約情報を表示します。

zoneset (configuration mode)

1 つのゾーンセットに複数のゾーンをグループ化するには、コンフィギュレーション モードで **zoneset** コマンドを使用します。コマンドを無効にするか、出荷時の設定に戻すには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
zoneset {activate name zoneset-name vsan vsan-id |
clone zoneset-currentName zoneset-cloneName |
distribute full vsan vsan-id |
name zoneset-name vsan vsan-id |
rename current-name new-name vsan vsan-id}
```

```
no zoneset {activate name zoneset-name vsan vsan-id |
clone zoneset-currentName zoneset-cloneName |
distribute full vsan vsan-id |
name zoneset-name vsan vsan-id |
rename current-name new-name vsan vsan-id}
```

シンタックスの説明	
activate	ゾーンセットをアクティブ化します。
clone <i>zoneset-currentName</i> <i>zoneset-cloneName</i>	現行の名前から新しい名前にゾーンセットを複製します。名前は最大 64 文字です。
name <i>zoneset-name</i>	ゾーンセットの名前を指定します。1 最大 64 文字まで可能です。
distribute full	ゾーンセットの伝播をイネーブルにします。
vsan <i>vsan-id</i>	指定した VSAN (仮想 SAN) でゾーンセットをイネーブルにします。有効範囲は 1 ~ 4093 です。
rename	ゾーンセットの名前を変更します。
<i>current-name</i>	現在の Fibre Channel (FC) エイリアスの名前を指定します。
<i>new-name</i>	新しい FC エイリアスの名前を指定します。

デフォルト なし

コマンドモード コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。
	2.0(x)	rename オプションが追加されました。
	2.1(1a)	clone オプションが追加されました。

使用上のガイドライン 親ゾーンセットをアクティブ化することでゾーンはアクティブ化されます。

zoneset distribute full vsan コマンドは、デフォルト ゾーンの利用値を VSAN 内の全ゾーンセットに配信します。利用値を配信したくない場合は、**system default zone distribute full** コマンドを使用して、デフォルト値を配信します。最初に VSAN が作成されてアクティブになるときに使用されます。

zoneset distribute full vsa コマンドは既存の VSAN に適用されます。まだ作成されていない VSAN には効果がありません。



(注)

トラフィックを切断せずにアクティブ Inter-VSAN Routing (IVR) ゾーンセットを新規 IVR ゾーンセットに置き換えるには、現在のアクティブ IVR ゾーンセットを非アクティブにせず、新規 IVR ゾーンセットをアクティブ化します。

例

次に、VSAN 333 内の gottons という名前のゾーンセットをアクティブにする例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# zoneset activate name gottons vsan 333
Zoneset Activation initiated. check zone status
```

次に、zSet1 という名前のゾーンセットを複製し、VSAN 45 に新しいゾーンセット名 zSetClone を作成する例を示します。

```
switch(config)# zoneset ?
  activate    Activate a zoneset
  clone       Zoneset clone command
  distribute  Enable zoneset propagation
  name        Configure a zoneset
  rename      Zoneset rename command

switch(config)# zoneset clone ?
  <WORD>      Current zoneset name (Max Size - 64)

switch(config)# zoneset clone existing ?
  <WORD>      New zoneset name (Max Size - 64)

switch(config)# zoneset clone existing new ?
  vsan        Clone zoneset name on a vsan

switch(config)# zoneset clone existing new vsan ?
  <1-4093>    VSAN id

switch(config)# zoneset clone existing new vsan 1 ?
  <cr>        Carriage Return

switch(config)# zoneset clone existing zSet1 zSetClone vsan 45
```

次に、デフォルトゾーンの運用値を VSAN 22 内の全ゾーンセットに配信する例を示します。

```
switch(config)# zoneset distribute full vsan 22
```

関連コマンド

コマンド	説明
system default zone distribute full	ゾーンセットに配信するデフォルト値を設定します。
show zoneset	ゾーンセット情報を表示します。

zoneset (EXEC mode)

ゾーンセットデータベースを結合するには、EXEC モードで **zoneset** コマンドを使用します。

```
zoneset {distribute | export | import interface {fc slot-number | fcip interface-number | port-channel
port-number}} vsan vsan-id
```



(注)

Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem および *Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter* では、構文は次のようになります。

```
import interface {bay|ext port | port-channel port-number}
```

シンタックスの説明

distribute	ファブリックのフルゾーンセットを配信します。
export	ゾーンセットデータベースを指定した VSAN (仮想 SAN) の隣接スイッチにエクスポートします。このスイッチのアクティブゾーンセットは、結合された Storage Area Network (SAN; ストレージエリアネットワーク) のアクティブ化されたゾーンセットになります。
import	ゾーンセットデータベースを指定したインターフェイスの隣接スイッチにインポートします。この隣接スイッチのアクティブゾーンセットは、結合された SAN のアクティブ化されたゾーンセットになります。
interface	インターフェイスを設定します。
fc slot-number	(任意) MDS 9000 ファミリースイッチ上にある指定スロット番号およびポート番号のファイバチャネルインターフェイスを設定します。
fcip interface-number	(任意) MDS 9000 ファミリースイッチ上の Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスを選択して指定したインターフェイス (1 ~ 255 の範囲) を設定します。
interface bay ext port	(任意) Cisco Fabric Switch for HP c-Class BladeSystem や Cisco Fabric Switch for IBM BladeCenter 上にある指定ポートのファイバチャネルインターフェイスを設定します。有効範囲は 0 ~ 48 です。
port-channel port-number	ポートチャネルインターフェイスを指定します。
vsan vsan-id	指定したインターフェイス上にある VSAN (仮想 SAN) のゾーンセットデータベースを結合します。VSAN ID の有効範囲は、1 ~ 4093 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(2)	このコマンドが導入されました。
3.1(2)	interface bay ext オプションが追加されました。

使用上のガイドライン

zoneset import および **zoneset export** コマンドは VSAN の範囲に対しても発行できます。

zoneset distribute vsan vsan-id コマンドは、**interop 2** および **interop 3** モードでサポートされて、**interop 1** モードではサポートされていません。

例

次に、VSAN 2 インターフェイスを介して接続された隣接スイッチからゾーンセットデータベースをインポートする例を示します。

```
switch# zoneset import interface fc1/3 vsan 2
```

次に、VSAN 5 を介して接続された隣接スイッチにゾーンセットデータベースをエクスポートする例を示します。

```
switch# zoneset export vsan 5
```

次に、VSAN 333 のゾーンセットを配信する例を示します。

```
switch# zoneset distribute vsan 333
Zoneset distribution initiated. check zone status
```

関連コマンド

コマンド	説明
show zone status vsan	指定した VSAN の配信ステータスを表示します。
show zoneset	ゾーンセット情報を表示します。

